

○国産大豆の安定供給を求められているため、大豆の生産拡大に取り組みましょう。

○国の支援策を活用するとともに、収量・品質の向上をはかることにより、主食用米と遜色のない所得の確保が見込まれます。

## 【大豆の収入・所得イメージ】

項目		金額(10aあたり)
販売収入		20,700~23,400円(※1)
畑作物の直接支払交付金		29,010円(※2)
水田活用の 直接支払交付金	戦略作物助成	35,000円
	産地交付金	地域農業再生協議会や取組内容により変動 (令和4年度実績約5,000~23,000円)
収入合計 ①		84,710~87,410円+産地交付金
生産費 ②(※3)		67,900円
所得①-②		16,810~19,510円+産地交付金

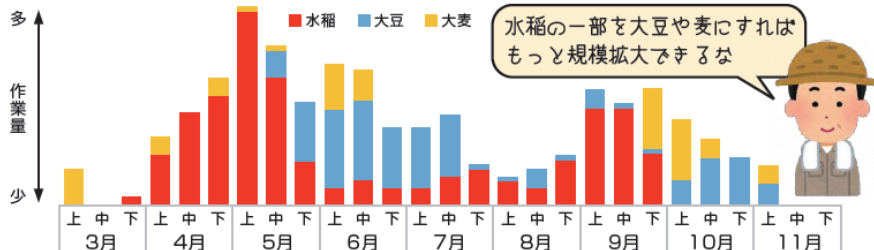
※1 精算単価6,900~7,800円/60kg、(収量180kg/10a)で試算

※2 畑作物の直接支払交付金は、5年産以降の課税事業者向け単価(大豆2等:9,670円/60kg)に単収(180kg/10a)を乗じて算出した。(収量・品質が向上すれば交付金も増加)

※3 生産費は、令和3年産北陸農政局統計値(主食用米:15ha以上、大豆:個別経営・北陸)を置いた。

## 【年間作業量のイメージ】

10a当たりの労働時間が稲作の60%以下と少なく、また、稲作との作業分散が可能であることから、労働力を有効活用した規模拡大ができます。



※農林水産統計 作業別直接労働時間より累試算

## 【令和5年度大豆生産対策に係る国の主な支援策】

### 1. 国産小麦・大豆供給力強化総合対策 (麦・大豆生産技術向上事業)

麦・大豆の増産を目指す産地に対し、水田・畑地を問わず、作付けの団地化、ブロックローテーション、営農技術の導入に対する支援

### 2. 産地生産基盤パワーアップ事業のうち国産シェア拡大対策 (生産拡大に向けた機械・施設の導入(補助率1/2以内))

麦・大豆の生産性向上のため必要な機械(サブソイラ等)や、生産効率化に必要な機械・施設(ドローン、コンバイン、乾燥機)の導入に対する支援(補助対象となる機械等は50万円以上5,000万円未満)



営農技術の導入  
(定額)



農業機械の導入  
(1/2以内)



乾燥調製施設の整備  
(1/2以内)

※国予算に限りがあるため、ポイントによる採択制となります。